

# 山形大学短期交換留学プログラム

(工学部・大学院理工学研究科／有機材料システム研究科対象)

# STEP-YUFE

Short-Term Exchange Programs at Yamagata University

Faculty of Engineering, Graduate School of Science and

Engineering, Graduate School of Organic Materials Science

**Spring Semester 2022- Spring Semester 2023**

## 内容

1. 山形大学の概要
2. 山形大学短期留学交換プログラム (STEP-YUFE) の概要
3. プログラムのねらいと特色
4. 授業の紹介
5. 日本での生活
6. 応募方法と締め切り
7. 結果の通知
8. 山形大学米沢キャンパスへのアクセス

問い合わせ先: 山形大学工学部学務課学生支援担当

(Student Services, Faculty of Engineering Yamagata University)

Tel: 0238-26-3017 (+81-238-26-3017)

E-mail: [yu-kouryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-kouryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

住 所: 〒992-8510 米沢市城南4丁目3-16

(4-3-16, Jounan, Yonezawa-shi, 992-8510 Japan)

<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>

<http://yu-eng-iec.sakura.ne.jp/ja/>

## 1. 山形大学の概要

山形大学は6学部12学科、7研究科を有する総合大学で、山形県内3地区にある4キャンパス<sup>1</sup>では約9,000人の学生が学んでいます。東北地方有数の総合大学として、研究・教育の中心となる役割を果たしています。工学部、大学院理工学研究科（工学系）、大学院有機材料システム研究科（以下、工学部等といいます。）のある米沢キャンパスには、約3,600人の学生が学んでいます。

山形大学は、「自然と人間の共生」をテーマとし、教育、研究及び地域貢献に全力で取り組み、次世代を担う人材の育成、知の探究・継承・発展、及び豊かな地域社会の実現に努め、もって人類全体の幸福と国際社会の平和的持続的発展に貢献することを教育理念としています。

工学部等では、2021年5月1日現在、12の国と地域から来た約86名の留学生が学んでいます。海外には12の国と地域に26の学部間交流協定校があり、学生や教職員の交流を行っています。

## 2. 山形大学工学部等短期交換留学プログラムの概要

山形大学工学部等では、学生交流協定を締結している大学等の学生を、その大学に在籍したまま工学部等に受入れる短期交換留学制度を設けています。このプログラムを、山形大学短期交換留学（STEP-YU）山形大学工学部等短期交換留学プログラム（STEP-YUFE）、（これ以降は2つのプログラムを合わせてSTEP-YUFEと表記する）と呼びます。

プログラム名	滞在期間	対象者*
山形大学工学部等短期交換留学プログラム (STEP-YUFE)	半年又は1年	学部間交流協定校に所属する学生

協定校との間で、単位互換と授業料等相互不徴収（協定で決められた人数）が定められています。

\*協定校一覧は、山形大学のサイトを参照してください。

(<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/agreement/>)



<sup>1</sup> 山形地区には小白川キャンパス、飯田キャンパスがあり、米沢地区には米沢キャンパス、鶴岡地区には鶴岡キャンパスがあります。

### 3. プログラムのねらいと特色

#### ねらい

諸外国の学部学生および大学院生が、日本語能力を高め日本についての理解を深めるとともに、専門の勉学・研究を行うことを目的とします。

#### 特色

日本語による通常の講義が提供されるプログラムで、工学部、大学院理工学研究科（工学系）、大学院有機材料システム研究科で受入れ可能です。ただし協定によっては学部生に限定されています。

学部の専門科目を履修するには、原則として、国際交流基金が行う日本語能力試験N2レベル合格程度の日本語能力を有することを明示する必要があります。

なお、大学院生の場合、英語で研究を行う分野もありますが、生活する上で日本語能力は必要です。従って、日本語能力が低い学生には、来日前及び山形大学での日本語学習を強く勧めます。英語での研究を希望する場合は、事前にお問い合わせください。

#### 期間

2022年4月1日から2022年9月30日または2023年3月31日まで

2022年10月1日から2023年3月31日または2023年9月30日まで

#### 応募条件

(1)大学間・学部間協定校に在籍する学部学生または大学院生<sup>2</sup>で、応募時に学部2年次以上であること。

(2)希望する学習・研究内容が本学部または本研究科の専門性と合致していること。

(3) 大学生活を円滑に送ることができるレベルの日本語または英語の能力を有すること。

・学部生は日本語力を重視し、日本語能力試験（JLPT）を受験し、N2相当以上のレベルを有していることを原則とします。また、参考として、英語力についても英語能力試験（TOEIC、TOEFL、IELTSなど）により、語学力を示すことが必要です。

・大学院生は、英語または日本語により、研究に関してコミュニケーションが図れる語学力が必要です。英語能力試験（TOEIC、TOEFL、IELTS など）または日本語能力試験（JLPT）のいずれかを受験していることを必須とします。望ましい語学力の目安は、主たるコミュニケーションが英語による場合は、TOEIC600点、TOEFL iBT61程度以上、主たるコミュニケーションが日本語による場合はN2程度以上とします。

### 4. 授業の紹介

日本語課外補講<sup>3</sup>（米沢地区）（下記は2021年度後期開講科目）

レベル	科目
初 級	サバイバル、J1 総合、漢字
初 中 級	J 2 総合、J 2 スキル
中 級	J 3 総合、J 3 スキル
上 級	J 4 総合、J 4 スキル

※その他に大学院生対象のビジネス日本語講座もあります。

<sup>2</sup> 受け入れの条件（学生の身分、交換人数等）は、学生交流協定に準じます。

<sup>3</sup> 日本語課外補講は単位を取得する科目ではありません。他の留学生や研究員等も受講します。

## 専門科目

山形大学のホームページ内「学生生活－授業について」を参照してください。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/lesson/syllabus/>

## 日本を体験する機会

山形大学米沢国際交流サークル（YUICY）及びさまざまな国際交流団体が留学生を支援しており、これらの団体が主催する行事（ホームステイ等）に参加することもできます。



山形大学の位置する山形県

は、四季に恵まれ自然を身近に感じることができます。県内全域にわたって温泉を楽しむことができ、温かい人々とふれあうことができる山形県で、充実した留学生生活を送ることができるでしょう。

## 5. 日本での生活

### 前期、後期の流れ

前期は4月上旬に始まり、8月の下旬までです。その後、9月まで夏休みです。

後期は10月1日に始まります。12月下旬から1月のはじめにかけて、15日日間程度の冬休みがあります。2月下旬から3月は春休みです。ただし、大学院生はこの限りではありません。

前期	4月	前期開始、オリエンテーション 日本語プレースメントテスト、履修登録
	7月下旬～8月上旬	期末試験
	8月下旬～9月	夏休み
後期	9月中旬	オリエンテーション、日本語プレースメントテスト
	10月	後期開始、履修登録
	12月下旬～1月はじめ	冬休み
	2月上旬	期末試験
	2月下旬～4月はじめ	春休み

### 来日直後の流れ

山形に到着した後、国際交流会館等に入居します。その後、2～3日は、住居地の届出や銀行口座の開設などの手続き、日本語プレースメントテスト、生活と勉強のオリエンテーションなどがあります。学期の最初の週に、授業を受けて履修登録をします。「チューター」と呼ばれる山形大学の学生が、日本の生活に慣れるよう援助します。

### 住居と生活費

山形大学米沢キャンパスで受け入れる短期留学生は、米沢国際交流会館に住むことができます。ただし、入居希望者が多い場合は、入居できないことがあります。米沢国際交流会館への入居許可者は工学部国際交流センターが選考し決定します。

米沢国際交流会館へは、米沢キャンパスから徒歩で約10分程度です。

料金については、下表のとおりです。電気・ガス・水道の公共料金は別途かかります。インターネットも使用することができますが、個別に契約が必要となり、別途使用料がかかります。

名称	タイプ	寄宿料／月	共益費／月	保証積立金／入居時
米沢国際交流会館	単身室	¥5,900	¥800	¥30,000
	夫婦室	¥11,900	¥900	¥36,000
	家族室	¥14,200	¥1,200	¥45,000

保証積立金は、入居手続きの際に、一括で支払います。保証積立金は、退去時に部屋・布団・冷蔵庫のクリーニングや補修等のために必要な費用が差し引かれ、残った金額が返金されます。

山形で生活するには、部屋代以外に光熱費、食費、娯楽・教養、交通費、通信費等、毎月 60,000 円程度かかります。（日本円 108.89 円≒1USD、日本円 126.88 円≒1EUR<sup>4</sup>）

## 6. 応募方法と締め切り

STEP-YUFE への受入れ候補者の選考は、提出された書類をもとに行います。2022 年 4 月からの留学を希望する場合は、2021 年 12 月 2 日（日本時間）までに、2022 年 10 月からの留学を希望する場合は、2022 年 4 月 28 日（日本時間）までに、所属大学の担当部署を通して応募してください。

所属大学の担当者は、応募書類を次のメールアドレスに送付してください。

山形大学工学部学務課学生支援担当

E-mail yu-kouryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

なお、応募者が複数名の場合は、大学で推薦順位を付してください。

### 応募書類一覧

	提出書類
1	【様式 1-1】申請書（Word データで提出）
2	【様式 1-2】学習・研究計画書（Word データで提出）
3	【様式 2】教員の推薦状（学生を一年以上知っている教員によるもの）
4	【様式 3】山形大学健康診断書（メールで送信する事に問題がある場合は、郵送も可とする。）
5	写真データ（JPEG データで提出）
6	在留資格認定証明書交付申請書（Excel データで提出）
7	在籍大学の成績表
8	日本語能力試験及び英語能力試験（TOEIC、TOEFL、IELTS など）の結果（画像） ・英語能力試験及び日本語能力試験の両方を受験していることが望まれます。 ・学部生は日本語能力試験及び英語能力試験の結果を提出してください。 ・大学院生は日本語能力試験または英語能力試験のいずれかの結果を提出してください。 ※募集要項 3. プログラムのねらいと特色 応募条件（3）をよく読んで提出すること。 ※受験していない場合は、Skype 等によりオーラルインタビューを行う場合があります。
9	パスポート ※有効期限が留学期間中に満了しないもの
10	入居許可申請書 ※国際交流会館への入寮を希望する場合のみ提出

<sup>4</sup> 2021 年 8 月 20 日現在。

## 7. 結果の通知

山形大学への応募の結果は、4月来日予定の学生には3月中旬頃に、10月来日予定の学生には8月末頃に、あなたの大学の担当部署に通知し、ビザをとるのに必要な **Certificate of Eligibility** を送ります。日本大使館あるいは領事館での手続き、航空券の手配は自分で行ってください。

## 8. 山形大学米沢キャンパスへのアクセス

下記 URL を参考にしてください。所要時間は、JR 東京駅より新幹線で約 2 時間です。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/en/about-yu/transportation/>

### 【参考】

- ◎成田/羽田空港から東京へ・・・鉄道（成田エクスプレス、京成線、モノレール等）
- ◎東京から米沢駅へ・・・山形新幹線（つばさ）で約 2 時間